

木質系廃棄物由来の保水剤の開発及び保水機能を向上させた菌体りん酸肥料の開発

国土緑化株式会社

目的

木質系廃棄物から安価で高品質(土壌改良効果の高い)な菌体りん酸肥料の製造

背景

以下の事由により、研究をスタートする



①未利用森林資源の利活用

近年、人口減少や里山の荒廃などにより森林資源が十分に管理されず、未利用のまま森林資源が廃棄されてしまっている。また、放置された森林を原因として、雪害の被害拡大や藪蚊の増加など、地域住民の生活圏にまで被害が広がっている。

これらの森林資源には、十分な利活用の選択肢が少ない。持続可能な社会の実現のため、さらなる利活用の選択肢を求められている。

②農業資材（肥料等）の高騰

世界情勢の諸問題を理由とし、輸入される肥料等の農業資材が高騰している。農業資材の中には、そのほとんどを輸入に頼っている資材も多い。

今後、農作物の生産を安定させるためにも、国内で製造→流通→販売が完結し、供給量が安定している資材の開発が求められている。

提案

上記のような問題の解決と、地域の未利用有効資源の有効活用を目指し、高品質な菌体りん酸肥料を製造する。

国内産の未利用有効資源の活用により、安定的に供給可能な肥料を低価格で販売可能となる。

今回の研究・開発により、地域の生活基盤が抱える問題の解決に寄与したい。

以上